

市民の健康増進で連携

県立大
備前市など
産学官協定結ぶ

県立大(総社市窪木)と備前市、住宅メーカー・サンヨーホームズ(大阪市)は、市民の健康づくりなどの分野で協力する産学官包括連携協定を結んだ。写真。

持続可能なまちづくり▽施設や人材の相互活用▽健康、医療といった分野での連携ネットワーク構築―などを項目を盛り込んだ。具体的な内容は今後詰めるが、備前市所有



の日生温水プール(同市日生町寒河)に同社の拠点を設けて健康づくり事業を展開。利用者の各種データを分析し、市民の健康増進につなげる方針。データ分析などと同大が協力

するという。

3月29日に市民センター(同市西片上)で締結式があり、田原隆雄市長、同社の田中康典会長兼最高経営責任者(CEO)、同大の辻英明学長が協定書に署名した。田原市長は「それぞれのノウハウを生かし、より良いまちづくりを進めたい」と述べた。

同社が県内自治体と連携協定を結ぶのは初めて。市と同大は2014年、地域活性化などに向けた連携協定を締結している。

(平松隆)